

北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：平成25年6月23日（日）
10：30～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成24年度事業報告、決算報告について

(3) 平成25年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」
平成25年度役員名簿（案）

- 顧問 櫻田真人（北見市長）
" 鮎田耕一（北見工業大学学長）
- 会長 永田正記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 越膳良臣（北見工業大学同窓会顧問）
" 倉本登（北見鉄工協同組合理事長）
" 西川孝範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）
" 古屋聖兒（北見医師会会長）
" 戸田龍一（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
- 常務理事 高橋信夫（北見工業大学理事・副学長）
- 理事 太布康洋（北見信用金庫理事長）
" 遠藤雅人（北見ぼらんち会会長）
" 石澤徳司（北見地区電気工事業協同組合理事長）
" 山田剛（北見歯科医師団団長）
" 村井泰彦（北見建設業協会会長）
" 小泉勝裕（北見管工事事業協同組合代表理事）
" 山田義久（協同組合日専連北見代表理事）
" 梅津行雄（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）
" 黒部哲哉（北見観光協会会長）
" 佐々木一明（協同組合北見総合卸センター理事長）
" 佐々木敏行（北見舗装協会会長）
" 別所博文（北見金融協会会長）
" 清水大（北見薬剤師会会長）
" 橘邦彦（北見工業大学同窓会顧問）
" 富山佳男（北見測量設計協会会長）
" 永田裕一（北見物産協会会長）
" 西川治彦（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）
" 海田有一（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長、
北見工業団地会会長）
" 真柳正裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
- 監事 小澤實之郎（北見商工会議所監事）
" 富田剛夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）

北見工業大学後援会 KITげんき会

平成24年度 事業報告書

目 次

1 学生に対する支援	
(1) 大学院学生に対する奨学金支給	1
(2) 語学研修プログラムへの参加旅費の助成	
台湾	7
ドイツ	17
カナダ	25
(3) インターナショナルCアワー開催の助成	33
(4) 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成	35
2 大学広報等への支援	
女満別空港広告看板掲出料の助成	37

平成24年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 学生支援課

1 実施事業名

大学院学生に対する奨学金支給

2 事業の概要

博士前期課程 1ヶ月あたり4万円

博士後期課程 1ヶ月あたり3万円

3 支給対象者

博士前期課程

	氏名	所属	学年
1	佐々木 優太	バイオ環境化学専攻	1年

博士後期課程

	氏名	所属	学年
1	三浦 雅弘	生産基盤工学専攻	1年
2	菅原 庸平	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	2年
3	柴田 啓貴	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3年
4	西川 慎之介	医療工学専攻	3年
5	日下 稜	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	1年 (10月入学)
6	松本 経	システム工学専攻	3年 (10月入学)

所属専攻・学年	バイオ環境化学専攻 1年次
氏名	佐々木 優太
報告	<p>いただいた奨学金は、大学院の学費に活用させていただいております。</p> <p>私の家庭は大学院に入学する前に両親が離婚して、仕送りが全くもらえなくなってしまいました。また、私自身の研究に支障がない程のアルバイトでは、学費・生活費・下宿代を全て賄うには足りませんでした。特に学費は、国立大学でも年間約50万円かかり、とても重荷になっておりました。そこで KIT げんき会の奨学金の存在を知り、北見市内での就職を考えていたこともあり、奨学金を受けさせていただきました。</p> <p>もし、この奨学金をいただくことができなかつたら、学費を払うことができず大学院で学ぶこともできなかつたと思います。会員の皆様には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。</p>
謝辞	<p>KIT げんき会会員の皆様に感謝申し上げます。月々4万円の奨学金は大学院で勉学に励むために必要で役立たせていただいております。現在は就職活動中であり、北見市内での就職を第一にと考えております。</p> <p>就職が決まった際には、この奨学金をいただけたことにより身に付いた大学・大学院で学んだ知識・経験を生かして、仕事に取り組みたいです。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	生産基盤工学専攻 1年次
氏名	三浦 雅弘
報告	<p>私は現在、預貯金で生活をしている為、この奨学金支給は経済的な負担を軽減することができています。そのおかげにより、勉学および研究活動に精力的に取り組むことができております。</p> <p>研究の成果と致しましては、国際会議において2012年8月に東京で開催された IWMST2012 にてポスター発表を行いました。また、今年5月にはシンガポールで開催された ICANRE2013 にて口頭発表致しました。海外の研究者と専門的な技術知識や意見交換をすることができた事は、今後の研究活動の中で大いに役立つ情報を得ることができました。現在、研究により得られた結果を Holzforschung に学術論文として投稿しています。</p> <p>このような成果を上げることができたのは、「KIT げんき会」による奨学金のおかげであります。今後も積極的に研究活動に取り組んでいく所存であります。</p>
謝辞	<p>KIT げんき会会員の皆様、ご支援いただき、ありがとうございます。</p> <p>これまでに経済的な不安を軽減し、研究活動に取り組んでこられたのは奨学金のおかげであります。今後とも奨学金を給付して頂いている意味を考え、精力的に勉学に励んでいきます。</p>

所属専攻・学年	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 2年次
氏名	菅原 庸平
報告	<p>KIT げんき会から支給された奨学金は、文献収集費用や研究に使用する機器の費用、国際会議に参加する際の費用として活用いたしました。</p> <p>私は大学院で、流域や河川をモデル化した分布型流出モデルを開発・利用して研究を行っています。分布型流出モデルとは雨によって発生する河川の水の量を推定するためのもので、コンピュータを利用して計算します。このモデルに、これまでに観測された降雨データや GCM(全球気候モデル)によって予測された将来の降雨データを入力することで、降雨形態や降雨量の変化が流域や河川に及ぼす影響を明らかにすることができると考えています。</p> <p>この研究の一部を昨年度に行われた国際会議で発表しましたが、その会議に出席するための費用として奨学金を利用しました。また、計算を行うための機器の整備、新しい知識や不明部位を理解し身につけるための文献収集に利用しており、奨学金があることによって研究・勉強の環境をより良いものに整えることができております。</p>
謝辞	<p>ご支援くださり、誠にありがとうございます。</p> <p>KIT げんき会会員の皆様から頂いている奨学金のご支援により、大学院での研究や勉強を効果的に進めることができいております。新しい知識や経験、技術を身につける際に、奨学金は非常に重要な資金となりました。心より御礼申し上げます。</p> <p>大学で学んだ知識や技術を活かして、社会に貢献できるように日々精進してまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。</p>

所属専攻・学年	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 3年次
氏名	柴田 啓貴
報告	<p>KIT げんき会の奨学金は、国内外出張の際の旅費の補助に充てさせて頂きました。</p> <p>大学院生の行う業務としては、研究はもちろんのこと、公への研究成果の発表が重要になります。研究発表の場では、自分の成果を発表することはもちろんのこと、外部の有識者の方々から意見を頂くことで、新たな研究の切り口を見つけることができることからとても重要となっています。</p> <p>また、私の場合は北見工大以外の先生方にも共著者になって頂いており、直接相談に行く際にも、KIT げんき会の奨学金はとても有効に利用することができました。</p>
謝辞	<p>KIT げんき会の奨学金のおかげで、資金の面では少ない制限で研究活動を行えました。</p> <p>ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 1年次
氏名	日下 稜
報告	<p>私は、現在、気候変動に伴うシベリアの氷河や南極氷床の変化について研究しております。冬期には、雪崩を引き起こす原因となる雪の強度測定方法の開発にも力を入れています。</p> <p>今夏もシベリアの氷河で調査を予定していますが、装備は自己負担となることが多く、予定外の出費がかかります。また、調査のために車を走らせることも多く、原油高の影響でガソリン代の負担も小さくありません。</p> <p>KIT げんき会からの奨学金は主に生活費に使用しておりますが、これらの出費に当てることがあります。生活費は元より、寒冷地での装備の良し悪しは研究結果に直結します。雪崩の研究においては、現場が山奥であることに加え、積雪の力学的性質は刻一刻と変化するため、いち早く現場に到着することが大切です。</p> <p>今年の3月2日に発生した大雪のような災害の際も、調査費用の一部として奨学金を使用させて頂いております。</p>
謝辞	<p>大学院博士後期課程の学生に対し、このような奨学金を設けて頂いていることに感謝申し上げます。</p> <p>今春、父が退職し、実家からの収入もあまり期待できなくなりました。私の主な収入源である、ティーチングアシスタント、リサーチアシスタントだけでは生活は成り立たず、KIT げんき会からの奨学金があることにより生計を維持しています。</p> <p>金銭的な心配無く、研究に打ち込める環境を作っていただいていることに対し、改めてお礼を申し上げます。次第です。</p>

平成24年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中華民国・台湾）

2 事業概要

(1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

(2) 研修期間

2013年2月22日（金）～3月22日（金）

(3) 助成対象・金額

3万円

3 支給対象者

	氏 名	所 属	学年
1	朝倉 裕二	機械工学科	2年
2	柳原 周斗	機械工学科	2年
3	奥田 駿	社会環境工学科	2年
4	植村 優大	電気電子工学科	2年
5	小竹 祐輝	情報システム工学科	2年
6	加藤 万誉	電気電子工学科	3年
7	間宮 大介	マテリアル工学科	3年
8	角地 優子	マテリアル工学科	4年

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	朝倉 裕二
報告	<p>今回の台湾研修では、午前中は中国語の勉強、午後は中国の文化について学びました。針治療や水墨画など名前は聞いたことはありましたが、実際に見るのはどれも初めてで、とても面白かったです。また、週末には台湾の有名な観光スポットに連れて行ってもらったりもしました。中国医薬大の学生の方がチューターとして私たちについてくれたので、わからないことなどがあつた時にすぐ聞くことができました。</p> <p>正直、行く前は台湾についてあまり知らなく、興味もあまりありませんでしたが、今回の研修で台湾に行ってみてとても興味を持つました。また、チューターの人とも仲良くなりましたが、会話は英語で少ししか話せなかつたので、今度は中国語で話せるようになりたいと思いました。</p> <p>今回知り合うことができた鈴木先生や一緒にいた友達、日本薬科大の人達、そして台湾でできた友達との出会いを大事にしていきたいと思います。今回の研修で体験したことを今後の自分の人生に少しでも生かせるように頑張っていきたいと思います。</p>
謝辞	<p>この度は、助成金という形で補助をして頂きまして、有り難うございました。お陰で私はとても有意義な春休みを過ごすことができました。心からお礼申し上げます。</p>

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	柳原 周斗
報告	<p>今回の台湾での語学研修は私にとって、とても充実したものでした。台湾の学生と話していて感じたことは「英語が通じる」ということでした。私は中国語が全然しゃべれなかったのですが、英語とジェスチャーによってお互いの意思の疎通ができることに感激しました。やはり英語が話せればどこの国の人とも話せるのだなと思いました。</p> <p>また中国語の授業はというと、結構きつかったです。何がきついかというと、やはり発音でした。自分では発音できている気がしていたのですが、何回も繰り返し練習させられました。</p> <p>郊外研修はとても疲れましたが、それ以上に楽しかったです。ものすごく広い仏陀の博物館や日月潭、夜市等々見るもの全てが新鮮でした。また、いつの日かもう一度台湾に行ってみたいです。</p>
謝辞	<p>今回助成金をいただいたことにより、経済的に負担が少なくなり、とても助かりました。その分、一生懸命勉強に励んできました。助成金ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	奥田 駿
報 告	<p>今回の研修は、台湾の大学での中国語の学習、そして習得をすることが出来ました。加えて、一か月に近い研修期間の中で、サポートに付いてくれた現地学生や、その他現地の方々との交流を深めることができました。</p> <p>現地の人々との交流は、日本国内では経験することのできない多くの体験を可能にしてくれました。その中で、日本と台湾の文化の違いを感じることができたので、互いの文化の理解、更には私自身の見聞を広げるきっかけになりました。</p> <p>特に、言葉が上手く伝わらない異文化の中での交流活動は、日本での交流に比べてとても困難なものでしたが、その分発見も多く、言語習得の上ではとても有意義でした。これは、単独での旅行などではなく、今回の研修のような、一人一人にチューターが付く、安心できる研修の中でこそ積極的にできる交流だったと思います。</p>
謝 辞	<p>今回のような国外での語学研修という貴重な体験は、学生の私には金銭的な面で困難な点が多く、その中でも研修に参加できたことはK I Tげんき会の皆様の助成が大きな支援になりました。</p> <p>今回の体験は私自身、成長の足掛かりとなりました。経験を生かし、学ぶ志を一層高くし、色々な事を学んで学生生活を送りたいと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	電気電子工学科・2年
氏名	植村 優大
報告	<p>今回、研修するにあたって私は以下の目標を持っていました。</p> <p>1つ目は「台湾という国の文化に多く触れる」という事です。というのも、正直行くまではあまり歴史も含めて台湾という国の事を知らないと感じていたからです。加えて、日本にいて他国について知ることが出来ることも限られています。『百聞は一見にしかず』という事で色々なことをすすんで体験するという事を念頭において研修に参加し、中国医薬大学の助力や台湾の友達と触れ合っていく中で、最初に描いていたよりも多くの事を体験できたと感じました。したがって、この目標は満足いくものになったと思います。</p> <p>2つ目は「中国語（歴1年）スキルを伸ばす」という今回のメインともいえる目標です。自分の中では日本にいる間も頑張っていたつもりでしたが、勉強不足だと痛感させられることが何度もありました。そして、気づかされたのは英語の大切さでした。本来ならば中国語の大切さを感じるべきなのでしょう。しかし、英語は中学校、高校、大学と続けてやっていて台湾の子も同様です。そんな中で一番効率のいいコミュニケーションは英語でした。</p> <p>ですが、残念なことに私の英語力は低く、非常に苦労しました。英語の〇〇は中国語でなんていうの？の〇〇が言えないということがあったり、英語で説明されても分からなかったり、文章なら分かるのですが、やはり聞いて話すという一見単純な事が難しかったです。</p> <p>中国語も話してもらったりしたのですが、最初はやはり聞こえませんでした。それでも後半になるにつれて聞こえてきたという所で研修が終わってしまったので、もうしばらくいたかったという気持ちが強くあります。</p> <p>今回の台湾での研修は私の中で大事な経験の一つとなりました。『井の中の蛙大海を知らず』とはよく言ったもので、自分の中の見聞がとて広がったように感じました。</p>
謝辞	<p>今回の研修を考えるうえでやはりネックとなっていたのは金銭面でした。いくらヨーロッパなどに比べて安く済むとはいえ10数万というのは非常に大きかったのですが、今回の研修にあたっての「KITげんき会」様からの三万円という助成金は研修に参加するかどうか考えるなかでプラスに働いたのは言うまでもありません。ご支援本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科・2年
氏名	小竹 祐輝
報告	<p>今回の台湾研修では、語学を学びながら、様々な文化体験やホームステイなど多くの経験ができました。また、現地の人との交流は、自分にとってよい刺激となりました。特に、現地の学生の授業に真剣に取り組む姿、おもてなしの心、積極性、高い英語力などにはとても感心し、自分も見習う必要があると思いました。</p> <p>さて、私は1か月の短い期間を台湾で過ごしましたが、研修の最後まで、現地の人と中国語で上手く会話をする事は出来ませんでした。また、現地の学生とコミュニケーションをとるときは、中国語の代わりに英語を使うことになりましたが、英語が苦手なため、英語でも上手く会話ができなく、自分の不甲斐なさや英語が世界の共通語であると改めて実感しました。なので、今はこの悔しさを糧にし、もっと中国語・英語の勉強に励むつもりです。</p> <p>今回の研修の中で上手くできなかったことはたくさんありました。ただ、失敗も含め、今回経験したことはすべて価値のあるものです。私はこれらの経験を今後に活かしていきたいと思います。</p>
謝辞	<p>この度は、台湾研修に助成していただき誠にありがとうございます。今回の素晴らしい研修に参加できたのもKITげんき会会員の皆様方のおかげです。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	電気電子工学科・3年
氏名	加藤 万誉
報告	<p>今回、台湾へ実際に行き行って学んだこと、感じたことは、とにかく人間関係が1番重要だということです。私は、全く中国語を学んでいません。英語もあまり話せません。そのため、今回のように外国へ行ってしまえば当然言葉は通じないですし、何もする事ができないので少し不安になります。</p> <p>しかし、そういった状況で救ってくれるのは、友人、仲間だと思えました。台湾の人達はとても親切で、いつも夕食へ連れて行ってもらうなど、細かい事までお世話になりました。また、彼らとコミュニケーションを取ったおかげで簡単な中国語の単語なども学べました。それから台湾の人達だけではなく、日本人の友人もできました。本学はもちろん、今回は日本薬科大学からも学生が参加し、学外の友人ができたことも嬉しかったです。</p> <p>人間の幸か不幸かは、人間との出会いによって決まるのではないかと思います。私はこの1か月間でとても素晴らしい仲間に出会うことができました。</p>
謝辞	<p>この度はこのような形で助成金をいただき、KITげんき会の皆様には感謝しております。謝謝！皆様のおかげもありまして、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。心よりお礼申し上げます。</p>

所属専攻・学年	マテリアル工学科・3年
氏名	間宮 大介
報告	<p>今回初めて、一ヶ月という長期にわたり、海外で研修ができたことにより、三つのことを得ることができました。</p> <p>一つ目は語学力の向上です。クラスでは、毎日午前中、中国語の学習ができ、基礎をしっかりと身につけることができました。発音は特に重要で、四音をしっかりと覚えることができ、今後の学習に役立てそうです。</p> <p>二つ目は、外国の人とコミュニケーションを図るすべを身につけました。言葉の壁があったのは確かですが、こちらから意思表示をすれば、相手も理解してくれました。気持ちが伝えられた時の充実感言葉では表せないほどすばらしく、更にコミュニケーションをとりたい気持ちになりました。</p> <p>三つ目は、人間関係を構築できたことです。寮生活をしてきたこともあり、台湾人学生の友人が出来、いつも夜遅くまで語りあったりしました。言葉の違いや、国の違いなど関係なく、友情を深めることもでき、非常に有意義な研修でした。</p> <p>今回習得したことを、今後の学生生活に生かして頑張りたいと思います。</p>
謝辞	<p>今回、助成金を有効に活用し、多くのことを習得することができました。3万円という貴重な助成金があった分、経済的にも助かりました。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	マテリアル工学科・4年
氏名	角地 優子
報告	<p>この研修では、中国語を学べただけでなく、台湾の歴史や文化、多くの台湾の方々に触れ合うことができました。</p> <p>中国医薬大学の先生方や、学生が企画してくださり、主に滞在していた北港周辺だけでなく、台中、台南、高雄、阿里山、日月潭など様々な場所に行くことができました。また、授業でも、水墨画や太極拳、漢方、針やつぼ、台湾のお菓子作りと、貴重な体験ができました。</p> <p>台湾に行く以前は、日本を先に知ってから、海外へ行こうと思っていました。しかし、この語学研修後、より海外に行きたい気持ちが大きくなりました。</p> <p>高校の修学旅行でマレーシアに行ったのですが、周りが日本人だらけで、滞在日数も少なく、語学を学ぶ機会もありませんでした。ですから、1か月も学生のうちに滞在できたということは貴重な体験になりました。</p> <p>また、日本医薬大学の学生も一緒に動いていたので、他大学の学生とも交流ができたことは、とてもよかったです。</p> <p>今後とも中国語の勉強を続け、次に台湾の友達と中国語で話せるようになりたいです。</p>
謝辞	<p>今回、この語学研修において、助成していただき、ありがとうございました。助成していただけるのと、ないのとでは大きく差があると思います。</p> <p>今後、この語学研修の経験を活かし、学生生活を送りたいと思います。</p>

平成24年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2012年8月9日（木）～8月31日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 支給対象者

	氏名	所属	学年
1	朝倉 裕二	機械・社会環境系	1年
2	猶原 有希子	機械・社会環境系	1年
3	石田 伸彦	情報電気エレクトロニクス系	1年
4	松田 考平	バイオ環境化学科	2年
5	川村 稜	バイオ環境化学科	3年
6	渡部 大気	バイオ環境化学科	3年
7	竹田 誠也	社会環境工学科	4年

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	朝倉 裕二
報告	<p>今回私たちは4年生1人、3年生2人、2年生1人、1年生3人そして許斐ナタリー先生の8人で8月9日～8月31日まで語学研修でドイツのフライブルク大学に行ってきました。</p> <p>フライブルクでの生活は、とても充実したものでした。午前中は自分のレベルにあったクラスごとに分かれて授業を受けました。様々な工夫がされていて、とてもわかりやすく面白い授業でした。</p> <p>今回の語学研修が、自分にとって初めての海外で不安もありましたが、先生が引率してくれるということもあり、わからないこともすぐ教えてもらえ、とても楽しく過ごせました。</p> <p>ドイツの人達もとても優しく、自分のカタコトの英語を頑張って理解してくれました。</p> <p>テレビやニュースなどでしか知らなかったドイツの文化や歴史にも直接触れることができ、とても有意義な語学研修を過ごすことができました。</p>
謝辞	<p>今回の補助金のおかげでとても楽しく有意義な語学研修を過ごすことができました。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	猶原 有希子
報告	<p>私がドイツ語学研修に参加したきっかけは、高校時代のマレーシアへの渡航経験でした。</p> <p>日本とは全く違う環境で、ぎこちない英語しか話せず、言葉の壁を感じ、もっと異文化の中に暮らす人と話したいと強く思い、また、文化そのものに感動し、もっと知らない世界を自分で見たい、と参加を決意しました。</p> <p>ドイツでは、ネイティブの先生との対話式の授業や、ドイツ経済・環境問題に関する講義を受けたり、ドイツ文化に触れるレクに参加したりと、非常に充実した日々を過ごせました。</p> <p>苦労もありましたが、感心と感動の連続で、改めて外国語習得への意欲が湧きました。また、将来関わりたい分野についてもたいへん勉強になり、自分の進路の参考になりました。</p>
謝辞	<p>ドイツ語学研修を通し、再度人の支えのありがたみを感じました。自分にとって、今回の経験は大きな糧になると確信しています。今回の参加にあたってのご支援について、心から感謝申し上げます。</p>

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系 1年
氏名	石田 伸彦
報 告	<p>私は、今回のドイツ語学研修が初めての海外だったので不安でしたが、現地での生活に大きな期待をふくらませドイツへ向かいました。</p> <p>現地での生活はとても新鮮で、驚きの連続でした。ドイツの大学の授業では一切日本語を使わず、ドイツ語と英語だけだったので苦労はしましたが、そのおかげで少し敬遠していた外国語に対する認識が改められ、身近な存在に感じることができました。</p> <p>授業では簡単な会話と、ある程度の語彙力しか身につけられませんでしたでしたが、それによって更に自分自身でもっとドイツ語を学びたいと強く思えたのも、この語学研修のおかげだと思います。</p> <p>午前で授業が終わると、午後にはレクレーションや各自で自由行動の時間がありました。レクレーションでは現地の方々と交流したり観光地を一緒に行ったりなどして、ドイツの文化を学ぶなど様々な貴重な体験をすることができました。</p> <p>この語学研修で海外へより強く関心を持つことができ、この経験を自分の糧とし、更にもっと多くの文化などに触れていきたいと思いました。</p>
謝 辞	<p>この度、このドイツ語学研修を有意義に過ごせたのは、支援をして頂いたKITげんき会会員の皆様方のご協力のお陰です。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科 2年
氏名	松田 考平
報告	<p>私は、8月9日から8月31日までドイツで語学研修をしてきました。</p> <p>海外に行くのが初めてであった私にとって、ちゃんとドイツ語の授業になじめるかが心配でしたが、ドイツ語で説明が難しい箇所は先生が英語で教えてくれ、なんとかついていくことができました。また、課外授業でその日教わったドイツ語を用いて、アイスやケーキを食べに行ったりしたので、生きたドイツ語を使う機会がとても多く、授業以外で何か買ったりする際にとっても役に立ちました。</p> <p>また、放課後にワインフェスタやパイプオルガンのコンサートに行けるレクレーションや、週末に「週末日帰り旅行」という企画があり、ボーデン湖やノイシュバンシュタイン城など、ドイツに残る大自然や歴史的遺産を見ることもでき、とても充実した二十日間でした。</p>
謝辞	<p>この度は、我々のドイツ語学研修のため資金援助をして下さり、誠にありがとうございます。</p> <p>おかげさまで、充実した語学研修を過ごすことができました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科 3年
氏名	川村 稜
報告	<p>私は、今回ドイツのフライブルク大学で3週間の語学研修に参加しました。</p> <p>内容は、平日は午前中にドイツ語の授業を受け、午後は、レクリエーションプログラムにより、ドイツ人や同じ語学研修に来た人とスポーツをしたり、ドイツの動物園に行ったりと、日本とドイツとの文化の違いを肌で感じることができました。週末は、スイスのチューリッヒに行ったり、ミュンヘンに行ったりと、新たな刺激になりました。</p> <p>私は本学で中国語を履修していたので、ドイツ語を学んだことがありませんでした。自分にとって触れたことのない言葉を使う国に行くことに、少し不安もありました。しかし、ゼロからのスタートなので、恥ずかしさより、学ぶ意識を高く持つことができました。</p> <p>3週間という期間では、簡単な会話を身につけることしかできませんでしたが、それでも、実際にレストランやショップでドイツ語を使い、それが通じるという喜びを感じました。</p> <p>海外に3週間という長い期間滞在するという経験はとても貴重で、コミュニケーションの力も上がり、これからの人生に役立つものを吸収できました。</p>
謝辞	<p>この度、奨学金を交付していただいたKITげんき会の会員の皆様にお礼申し上げます。学生にとってこのような研修に行くお金はとても高く、そのため参加しにくい人もいますので、この交付はとてもありがたいものです。今後も宜しくお願いします。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科 3年
氏名	渡部 大気
報告	<p>今回、このドイツ語学研修に参加し、三週間と短い期間でしたが、多くのことを経験することができました。</p> <p>初めての海外ということもあり不安でいっぱいでしたが、行ってみると同じように語学を学びに来ている日本人の学生が周りにいることを知り、安心しました。</p> <p>語学の授業は、実際にドイツ人の先生と会話したり、質問に答えたりというものでした。また、レクリエーションによって他の学生と交流できたり、様々なところに行くことができたりなど、授業以外にもたくさんの経験をすることができました。</p> <p>このドイツにいた三週間は、今までの中で最も充実した三週間でした。日本にいたら絶対にできないことを経験、体験することができましたし、多くの学生とも友達になることができました。そして、自分の考え方や感じ方、ものの見方も大きく変化しました。</p> <p>この経験は自分の将来や、今後の選択に絶対に役に立つものであり、自分の大きな味方になってくれると思います。</p>
謝辞	<p>この度は、本研修において奨学金を交付していただき、誠にありがとうございました。KIT げんき会の皆様のご支援により、とても有意義な時間を過ごすことができました。</p> <p>今後も、このような学生への支援をよろしくお願いいたします。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科 4年
氏名	竹田 誠也
報告	<p>私は、ドイツのフライブルクでの語学研修に参加しました。学生7名、先生1名の計8名で参加し、期間は8月9日から8月30日までの約3週間でした。</p> <p>午前中にドイツ語の授業を受け、午後からはフライブルク大学が用意したレクリエーションプログラムに参加したり、観光や買い物に行ったりして過ごしました。</p> <p>ドイツ語の授業は、1クラス約15名で、座学だけではなく、生徒たちで街へ出かけ、様々なお店へ行き、ドイツ語を使って質問したりする課外授業なども行われました。</p> <p>今回の研修では、目的の1つであった1人での観光にもチャレンジしました。週末は学校が休みで自由だったので、週末を利用してベルリンやパリなどへ行ってきました。海外で1人で行動することは不安でいっぱいでしたが、特にトラブルに遭遇することもなく、楽しい観光をすることができました。</p> <p>普段は経験することができないことをたくさんでき、とてもためになる研修でした。</p>
謝辞	<p>この度、本研修において、奨学金を交付していただいたKITげんき会の会員の皆様にお礼申し上げます。こうした海外研修は、学生にとってはとても魅力的ですが、多額の費用がネックとなるので、奨学金の交付はたいへんありがたいものです。</p> <p>今後も、こうした学生への支援をよろしくお願い致します。</p>

平成24年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（カナダ）

2 事業概要

(1) 研修先

ハンバー工業大学

(2) 研修期間

2013年3月1日（金）～3月31日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 支給対象者

	氏名	所属	学年
1	石原 宙	機械・社会環境系	1年
2	白鳥 良子	機械・社会環境系	1年
3	西谷 航佑	機械・社会環境系	1年
4	呼子 龍稀	機械・社会環境系	1年
5	久保田 早貴	バイオ環境・マテリアル系	1年
6	畠山 鈴生	情報システム工学科	2年
7	松田 拓也	情報システム工学科	2年
8	吉田 翼	マテリアル工学科	2年

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	石原 宙
報 告	<p>カナダでの一ヶ月は一瞬で、日本に帰ってきて思ったことが「また、カナダに帰りたい」でした。外国に行くことがとても久しぶりで、日本で学んだ英語がどれだけ通じるのか、そして異文化に触れ写真に残したい、という目的で参加しました。</p> <p>カナダの授業は、“座学”を感じさせないとても活きたものでした。先生と生徒が対話をしつつ「少し的がずれていないか」と思っているにもかかわらず学習目標に達する形は、目を見張るものがありました。日本ではないと思います。授業を“受けている”ではなく“楽しむ”イメージでした。</p> <p>また、生の外国の文化に触れられたことは、大変有意義でした。毎日自分のお気に入りのカメラを提げてシャッターを切りつつ、ユーモアで人間味あふれるカナダの人々と触れ合う。こんなに幸せなことは滅多にないと思います。外国に行った人が、「一度は日本を出るべきだ」と言う言葉の真の意味を理解できた気がします。</p> <p>大切なことは、この研修で感じた気持ち、考えを忘れないことだと思います。次につながる第一歩の後押しをしてくれたこの研修は、とてもかけがえのない存在だと確信しています。</p>
謝 辞	<p>人との対話、未知への挑戦、かけがえのない経験、どれも非常に重要なことだとこの研修で学びました。今回のご支援に、心から感謝申し上げます。</p>

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	白鳥 良子
報告	<p>毎日が夢のように楽しかったです。カナダは、多くの人種の方が暮らしていて、歩いているといろいろな言語が聞こえてきます。カナダで英語を学びたい！という人達の中で英語を学ぶことができたことは、とても刺激になりました。</p> <p>カナダの大学では、たどたどしい英語でコミュニケーションを取りながらも国境を越えて他の国の人と昼食を食べ、自国のことをお互いに話したりと、実に楽しい時間を過ごすことができました。世界中の人々と交流できたのは、今回の語学留学があったからこそです。</p> <p>カナダで出会った素敵な仲間たちは、私にとって素晴らしい財産です。また、今回の留学でベトナムやロシアなどの友達ができることから、それぞれの国の歴史や言語なども学びたいと思うようになり、帰国してからも学びたいと思えることが見つかったことが1番の収穫です。知りたいという気持ちで、自分の世界は広がると実感しました。</p> <p>言いたいことがうまく伝えられない悔しさが、今は英語に対する勉強意欲へと変わっています。英語のスキルアップが目的であった留学でしたが、たくさんの人を通じて自分の視野を広げられたこと、何ものにも代えがたい貴重な体験ができたことを感謝しています。</p>
謝辞	<p>私は、今回のカナダ研修で成長したと思います。それは、語学的にもそうですが、自分の世界が広がりました。それもご支援があったからです。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	西谷 航佑
報告	<p>私は、初めは単に楽しそうだなという気持ちだけで、この研修に参加しました。しかし、カナダでネイティブの英語や、初めて見るカナダの文化、食べ物に非常に刺激を受けました。</p> <p>カナダに行ってもすぐの頃は、ほとんど英語が聞き取れず、ただ料理を注文するだけでも苦労しましたが、しだいに耳が慣れ、カナダでの生活を十分に楽しむことができました。</p> <p>また、今回の研修を通して、カナダでできた友達は、一生の宝物になりました。特にホームステイ先では、ホストファミリーの方にカナダのことを教えていただいたり、日本のことについて話したりと、とても充実した毎日を送ることができました。</p> <p>さらにホストファミリーの一人である男の子や、彼らの友人の方たちとも仲良くなることが出来、また機会があれば、カナダを訪れたいと強く思いました。</p> <p>今後も、この研修で得たものを忘れずに英語を学んでいきたいです。</p>
謝辞	<p>今回の研修は自分にとって非常に良い経験になりました。KIT げんき会様のご支援に、心より感謝申し上げます。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境・マテリアル系 1年
氏名	久保田 早貴
報告	<p>今回のカナダ語学研修への参加は、夏休みの韓国交流研修がきっかけでした。韓国の学生と話す際、お互いの言葉がわからない時に英語を使うことがあり、英語の重要性を感じるとともに、違う文化を持つ人と話すことのおもしろさを知り、カナダに行くことを決めました。</p> <p>カナダの大学では、留学生向けの授業を受けました。授業内容はグラマーやリーディングなどの他に、クラスメイトと話しながら考えていく時間が多く、どの授業も楽しむことができ、2時間弱の授業時間も短く感じました。</p> <p>また、一緒に授業を受けたクラスメイト達は、出身国だけでなく、年代も様々でしたが、みんな授業に対する意欲があり、積極的に質問したり発表したりする人ばかりで、とても刺激を受けました。</p> <p>カナダに行って、色々な人と話したり、みんなで観光したりと、楽しいことも沢山ありましたが、思っていることがうまく伝えられず、悔しく思うことも多かったです。その悔しさをバネにもっと英語を勉強して力をつけ、またカナダに行きたいと思っています。</p>
謝辞	<p>今回の語学研修は、KIT げんき会様のおかげもあり、いい経験になりました。ありがとうございます。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科 2年
氏 名	畠山 鈴生
報 告	<p>私がカナダ語学研修に参加したきっかけは、両親に勧められ、興味を持ちはじめたことでした。それにより、初めて行く言葉が通じない土地で、自分がやっていけるのか試したい、日本との違いを自分の目で見てみたいと思うようになり、参加しました。</p> <p>カナダでは、ネイティブの先生のきれいな英語の発音のもと、自分のレベルにあった環境で講義を受け、他の国から来たクラスメイトと友達になり、とても楽しい学校生活でした。内容が深く、細かい会話を英語で話せるようになりたいと目標ができました。</p> <p>また、街を歩くだけで全てが新鮮で、日々、新しい発見ばかりでした。困ることも多少はありましたが、相談できる先生や友達がいたので安心でした。</p> <p>行く前は長いと思っていましたが、あっという間でした。1ヶ月間、沢山学び、沢山感動し、大変勉強になりました。</p>
謝 辞	<p>今回、自分にとって非常に良い経験ができたのも、カナダ語学研修を通し、周りの人の支えがあったからです。</p> <p>今回の参加にあたってのご支援、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科 2年
氏 名	松田 拓也
報 告	<p>私が今回のカナダへの語学研修に参加したのは、小学校の時に英語を少し触れていたことがきっかけでした。その時勉強した英語がとても新鮮で楽しく、いつか海外で英語の勉強をしたいと思っていたので、その一歩として、参加しました。</p> <p>カナダでの学校生活は、グループワークやディスカッションがメインで、日本の講義とはまた全然違う環境でとても楽しく英語を学ぶことができました。</p> <p>カナダに着いてからは、毎日友達と話すのも四苦八苦する場面が多々あり、毎日悔しい思いをして過ごしていました。しかし、その悔しい思いをばねにして、来年またカナダに行き、もっと勉強しようと思っています。</p> <p>今回のカナダでの生活は、私の将来の進路を考える上でとても参考になりました。</p>
謝 辞	<p>今回のカナダでの語学研修を通して、改めて親、友人、先生方など、人々の支えにとってもありがたみを感じることができました。</p> <p>この研修での経験は、自分の今後の人生の大きな糧になると感じました。</p> <p>今回の参加にあたってのご支援に、心から感謝いたします。</p>

所属専攻・学年	マテリアル工学科 2年
氏 名	吉田 翼
報 告	<p>私が今回の研修に参加した最大の理由は、自分の経験の浅さと英語力の欠如を認識したからです。</p> <p>高校時代、1年間アメリカに留学していたクラスメイトがおり、その友人に聞いたところによると、「文法や読み書きはともかく、話術とリスニングは上達する。」とのことでした。</p> <p>今回は1カ月間という期間ですが、カナダの大学の授業に様々な国の人とともに参加し、国によって発音の仕方が違ったり、筆記体が主流だったりと、外国語を使う機会が増え、自分も基本的な日常会話においてはスラスラとしゃべれるようになったと思います。</p> <p>英語圏の生活文化は、食文化では公共施設（レストラン等）以外では、各家庭で様々だったり、家電製品や車は日本製品のものが多いなど、さまざまな見聞を得ました。</p> <p>もし将来海外に仕事で派遣されるようなことがあれば、必ずやプラスに傾くであろう経験になったと思います。</p>
謝 辞	<p>今回の留学に際し、自分の英語圏での生活において、多くの援助をいただき、ありがとうございました。</p>

1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めること、また、日本人参加者が異文化について学ぶことも目的としている。

3 開催報告

2012年 4月27日 ゲームで友達の輪を広げよう！
2012年 6月25日 サンフランシスコ（アメリカ）で仕事経験
2012年 7月17日 絵手紙を描こう♪
2012年 8月 2日 流しそうめん♪
2012年11月12日 三味線の生演奏&体験
2012年12月18日 インターナショナルコンサート
2013年 1月30日 餅つき

4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、全7回の開催を盛況のうちに無事終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、手作りのお菓子を含めた茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成24年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

2 事業の概要

図書館に配架されている参考図書等で、新版が出版されているもの又はカタログ等から利用が見込まれる新規の参考図書等を追加購入し、学生の教育・学習を支援する。

3 購入図書一覧

別紙のとおり

4 謝辞

皆様からのご厚志は、本学の教育、学習支援のために図書館資料の充実に役立たせていただいております。この場をお借りし、感謝申し上げます。

北見工業大学では、一般市民の方にも大学図書館を大いにご利用いただけるよう一般図書等の充実やコミュニケーションホール等の施設開放も行っております。今後もより一層開かれた大学づくりを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

KITげんき会事業費による購入図書一覧

番号	書名	著者名	発行所	発行年	数量	本体定価
1	リーダーズ英和辞典（第3版革装）	高橋 作太郎	研究社	2012	1	14,490
2	新明解国語辞典（第七版；革）	山田 忠雄	三省堂	2012	1	4,830
3	新領域土木工学ハンドブック（普及版）	池田 駿介	朝倉書店	2012	1	27,531
4	地球と宇宙の化学事典	日本地球化学会	朝倉書店	2012	1	11,592
5	科学技術と英大辞典—ハンディコンパクト（第3版）	富井 篤	オーム社	2012	1	14,490
6	分析化学用語辞典	日本分析化学会【編】	オーム社	2011	1	8,211
7	テキストマイニングハンドブック	フェルドマン, ローネン	東京電機大学出版局	2011	1	6,955
8	難削材・新素材の切削加工ハンドブック	狩野 勝吉	森北出版	2011	1	11,592
	合 計				8	99,691

1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

2 事業の概要

女満別空港2階出発ロビーへ広告看板の掲出

3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しているものですが、平成25年3月にデザインを一新、「自然と調和するテクノロジーの発展を目指して」のスローガンに加え、新たにロゴマークを配置するとともに、ポップで親しみやすいデザインとすることで、幾分堅い工学のイメージを払拭できればとの願いを込めています。



4 謝辞

本事業に関し、平成17年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。

今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」
平成24年度決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	2,400,000	2,277,000 円	個人会員(45件) 257,000 円 法人会員(103件) 2,020,000
寄 附 金 等	1,500,000	1,676,000 円	同窓会会員からの寄附(122件) 1,676,000
雑 収 入	1,000	203 円	預金利息 203
前年度からの繰越	1,439,737	1,439,737 円	
合 計	5,340,737	5,392,940 円	

支出の部

項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	320,000	250,205 円	
通 信 費	(内訳) 200,000	(内訳) 147,225	印刷物郵送料、返信用葉書
事 務 費	20,000	8,480	事務諸雑費、振込手数料
印 刷 費	100,000	94,500	リーフレット印刷ほか
大学援助費	4,851,500	4,361,500 円	
学生に対する支援	(内訳) 4,127,000	(内訳) 3,637,000	大学院学生に対する奨学金支給 2,460,000 480,000円×1人=480,000円 360,000円×5人=1,800,000円 180,000円×1人=180,000円 語学研修プログラム参加旅費の助成 990,000 30,000円×8人=240,000円(台湾) 50,000円×8人=400,000円(カナダ) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ) インターナショナルCアワー開催に伴う助成 87,000 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
大学広報等への支援	724,500	724,500	女満別空港広告看板掲出料の助成 724,500
予 備 費	169,237	0 円	
次年度繰越金		781,235 円	
合 計	5,340,737	5,392,940 円	

監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、平成24年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

平成25年6月11日

監 事 小 澤 實之郎

監 事 牧 野 勇 治

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当後援会事務局が別途保管しております。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成25年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	大学院学生に対する奨学金支給 語学研修プログラムへの参加旅費の助成 短期交流研修（派遣）の助成 インターナショナルCアワー開催の助成 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	北見ぼんちまつり参加者への助成

北見工業大学後援会「KITげんき会」
平成25年度予算書(案)

収入の部

項 目	予 算	備 考
会 費	2,400,000 円	個人会員(100口 × 3,000円) 300,000 円
		法人会員(210口 × 10,000円) 2,100,000
寄 附 金 等	1,500,000 円	同窓会会員からの寄附 1,500,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	781,235 円	
合 計	4,681,735 円	

支出の部

項 目	予 算	備 考
後援会運営費	240,000 円	円
通 信 費	200,000	印刷物郵送料、返信用葉書 200,000
事 務 費	20,000	事務諸雑費 20,000
印 刷 費	20,000	払込取扱票印刷ほか 20,000
大 学 援 助 費	4,281,000 円	
学生に対する支援	(内訳) 3,582,000	大学院学生に対する奨学金支給 2,280,000 480,000円×1人=480,000円 360,000円×5人=1,800,000円 語学研修プログラム参加旅費の助成 910,000 30,000円×7人=210,000円(台湾) 50,000円×7人=350,000円(カナダ) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ) 短期交流研修(派遣)の助成 210,000 30,000円×7人=210,000円 インターナショナルCアワー開催に伴う助成 82,000 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
大学広報等への支援	599,000	女満別空港広告看板掲出料の助成 599,000
北見ぼんちまつり 参加への支援	100,000	北見ぼんちまつり参加者への助成 100,000
予 備 費	160,735 円	
合 計	4,681,735 円	

K I Tげんき会 平成26年度以降の事業について（案）

平成26年度以降の事業（案）

いままでの事業

- ・大学院学生（日本人）奨学金
- ・語学研修プログラム助成
- ・国際ナショナルCアワー助成
- ・参考図書購入の助成
- ・女満別空港広告看板掲出助成

- 学生表彰
 - ・地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生をK I Tげんき会会長が表彰
- 著名人講演会
- 地域貢献活動
 - ・ぼんちまつり参加
 - ・留学生派遣
- 屈斜路研修所優待利用
- 地域における国際交流支援
 - ・国際ナショナルCアワー助成
 - ・留学生交流イベント助成
- 参考図書購入の助成
- 女満別空港広告看板掲出助成

大学負担

- ・大学院学生（日本人）奨学金
- ・語学研修プログラム助成

北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
 - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。
- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。
- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。
- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。